

事務事業チェックシート

事務事業No 375 事業名 生活科学検査事務（食品、家庭用品、飲料水等の検査を実施）

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	3	生活衛生対策の推進
取組方針	2	検査体制の強化

事業種別	継続		
事業期間	S 5 2 ~		
事業実施の根拠法令	食品衛生法・有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律		
関連個別計画			
担当課・担当課長・Tel	衛生研究所	山下 晃司	453-0055
関連課	生活保健課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	衛生研究所費		
	大事業 中事業	衛生研究所事業 生活科学検査事務		

1 事業内容

事業目的	「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か 食品、家庭用品、飲料水等の理化学検査を実施し、市民の健康と安全を守る。平成18年のポジティブリスト制の施行に伴い、増加傾向にある食品中の残留農薬基準違反事例に対応するため、新規農薬標準品を確保し分析法を確立する。また、市民の日常の食事を介し農薬摂取量を把握するため、厚生労働省が実施する食品残留農薬等一日摂取量調査に参加する。		全体事業概要 ・和歌山市食品衛生監視指導計画に基づく行政依頼検査と市民等からの有料依頼検査を行う。 食品検査：生鮮野菜、果実及び冷凍野菜の残留農薬検査、畜水産物中の残留動物用医薬品検査、菓子やそうざい等加工食品の規格基準・添加物検査を行う。 飲料水等の理化学検査：井戸水、簡易専用水道、船舶水、浴場水およびプール水等の水質検査を行う。 ・残留農薬一日摂取量調査：厚生労働省の委託を受け、国民が日常の食事を介してどの程度の量の農薬を摂取しているかを把握する調査に参加する。 ・家庭用品検査：乳幼児用衣類の検査を行う。 ・調査研究：残留農薬および動物用医薬品の一斉分析法を研究する。			
	事業内容	平成27年度 食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水等の理化学検査とその調査研究	平成28年度 食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水等の理化学検査とその調査研究	平成29年度 食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水等の理化学検査とその調査研究	平成30年度 食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水等の理化学検査とその調査研究	平成31年度 食品・動物用医薬品・家庭用品・飲料水・用水等の理化学検査とその調査研究

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	7,998	7,971	7,011	7,132	6,423	6,777	6,486	6,486	6,486	6,486
伸び率(%)	-	-	▲12.3%	▲10.5%	▲8.4%	▲5.0%	1.0%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	21,598	25,054	21,598	24,175	19,584	23,640	23,640	23,640	23,640
	正規職員以外	4,044	4,585	4,044	3,155	2,744	1,690	1,690	1,690	1,690
	小計	25,642	29,639	25,642	27,330	22,328	25,330	25,330	25,330	25,330
国庫支出金	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006	3,006
県支出金										
市債										
その他	6,003	3,697	6,003	3,269	6,015	3,156	3,693	3,693	3,693	3,693
一般財源(税等)	-1,011	1,268	-1,011	857	-2,598	615	-213	-213	-213	-213
所要人数(人)	正規職員	2.84	3.29	2.84	3.04	2.46	2.96	2.96	2.96	2.96
	正規職員以外	1.92	2.10	1.92	1.43	1.25	0.74	0.74	0.74	0.74
主な予算内訳	機械等保守委託料1,426千円、医薬材料費2,067千円、消耗品費1,954千円等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	検査実施項目数(生活科学検査)	項目	目標値					
			実績値	21,339	18,773	17,792		
			達成度(%)					
成果指標	衛生研究所における検査可能項目数(生活科学検査)	項目	目標値	345	346	347	349	
			実績値	345	346	348		
			達成度(%)	100.0%	100.0%	100.3%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	食品中の食品添加物や野菜、果実等の残留農薬が問題となっている中、分析可能項目数を増加させ検査を行うことで、市民の食の安全・安心に貢献する。井戸水等の水質検査を行い市民が飲用している水の状態を知らせる。
見直し・改善内容	機器の整備に努め、精度の向上と作業効率の改善に努める。